

Canvas X 2018/Canvas X GIS 2018

ビルド 286 リリースノート

解決した問題

- ドキュメントにダイナミック効果を使用したオブジェクトが存在すると正しく印刷されない問題が解決しました。
- ダイナミック効果を適用したオブジェクトを矢印キーで移動しようとするクラッシュする問題が解決しました。
- Windows 7 上で Canvas X GIS 2018 を起動している際、GIS ポジショニングパレットまたは参照ポイントを選択して GIS 座標を編集しようとするクラッシュする問題が解決しました。

Canvas X 2018/ Canvas X GIS 2018

ビルド 278 リリースノート

新機能

- レイアウトメニュー>シート/ページ/スライドに[複製]機能が追加されました。この機能は「ドキュメントレイアウト」パレットのパレットメニューからもアクセスできます。

改善点

- 3200%以上の拡大率で画面を表示しスペースバー+ドラッグでドキュメント内を移動する際の動作が改善しました。
- 再起動時に前回の使用で最後に表示していたドッキングペインのパレットが表示されるようになりました。
- プログラムを起動する際、特定の環境下でツール読み込みに関して発生していた問題が改善しました。
- コンポジットオブジェクトを検索する際、検索パレット>オブジェクトタブ>種類からコンポジットオブジェクトアイコンを選択することで検索ができるようになりました。
- スマート吸着機能を線オブジェクトに対して適用する際、線や他のオブジェクトを移動し

ながら吸着できるようになりました。

- [すべてのレイヤーから選択]にチェックがされているかどうかで、スマート吸着の動作が異なります。[すべてのレイヤーから選択]にチェックがされていない場合、スマート吸着は現在のレイヤー上のオブジェクトに対してのみ動作します。

解決した問題

- Windows 7 上で、イメージメニュー> スキャナからインポートを選択するとクラッシュする問題が解決しました。
- 透明効果 (SpriteLayers) が適用されたオブジェクトが選択されている場合コンテキストメニュー> 編集から透明度を選択し編集できるようになりました。
- 右矢印を付けた開いたパスを選択した場合、属性スタイルパレットの<登録> ボタンをクリックすると表示される【属性スタイルを定義】ダイアログボックスで[矢印]チェックボックスが使用可能にならない不具合が解決しました。
- 検索機能でカンマやピリオドのとなりに位置する単語が検索されない問題が解決しました。
- 環境設定センター> テキスト> タイプ設定のスマートクオートの使用がオンになっていると、検索機能でクォテーションマークのとなりに位置する単語が検索されない問題が解決しました。
- 検索パレットの結果を選択項目に追加> 属性を取り込むから取り込まれたオブジェクトが検索されない問題が解決しました。
- 縦ルーラーを Alt+ドラッグで引き離した際、値が 0 からはじまらない問題が解決しました。
- イメージ形式でファイルを保存した際、SpriteEffects 効果を適用したオブジェクトが他のオブジェクトで隠れている場合間違ったかたちでレンダリングされる問題が解決しました。
- 特定の PDF ファイルの一部が Canvas X 内に読み込まれない問題が解決しました。

Canvas X 2018/ Canvas X GIS 2018

ビルド 246 リリースノート

新機能

- 効果メニュー> ダイナミック効果が追加されました。ダイナミック効果は、「影」、「反射」、「光彩」、「ぼかし」があります。効果を適用するオブジェクトの形状、サイズの変更に合わせて適用された効果の形状、サイズが自動的に変化する特殊効果です。

- レイアウトメニュー>スマート吸着が追加されました。スマート吸着はオブジェクトを配置、整列、サイズ変更する際に役立つ補助機能です。
- イメージメニュー>スキャナからインポートを使用すると、WIA (Windows Image Acquisition)対応のスキャナでイメージを Canvas X ドキュメント内へ直接インポートし編集することができます。
- 書式パレットにハイフンタブが追加されました。
- 編集メニュー> 選択範囲で貼り付けを選ぶと選択範囲の前面に貼り付けか背面に貼り付けかを選択することが出来るようになりました。
- SVGZ ファイルへの書き出しに対応しました。

改善点

- ベジエ曲線に適用した矢印ヘッドの配置位置が改善しました。
- 円、楕円、90°度の弧を描く際の精度が改善しました。
- 円、楕円、90°の弧、角丸四角形、コンポジットオブジェクトの周囲と面積の計測における精度が改善しました。
- Microsoft Word、PowerPoint、その他透過した画像 (JPG) や (PNG) をサポートするアプリケーションで作成されたオブジェクトをコピーし、編集メニュー> 形式を選択して貼り付けで Canvas 内に貼り付ける機能が改善しました。
- 多辺形のインセットの割合はプロパティバーよりパーセントで値を入力し設定できるようになりました。
- グリッドとガイドダイアログボックスはドキュメント上で何もオブジェクトが選択されていなくても、プロパティバーの「設定」ボタンをクリックすることで開けるようになりました。
- グリッドとガイドダイアログボックスでガイドのカラーを自由に変更できるようになりました。
- 1000 個以上のオブジェクトが選択されている場合でも、ファイルメニュー> 環境設定センター> 選択範囲> 1000 個以上のオブジェクトが選択された場合でも各境界枠を表示にチェックを入れることで選択枠の表示が可能となりました。
- SVG 及び SVGZ ファイル形式が、名前を付けて保存> マルチ保存> マルチ保存オプションダイアログボックスに追加されました。
- SVG ファイルへ保存する際、イメージの埋込みに対応するようになりました。
- DWG/DXF ファイルへ保存する際、名前を付けて保存ダイアログボックスの「選択範囲を保存」オプションを選択して保存できるようになりました。

- DWG/DXF ファイルを読み込む際、DWG&DXF 読み込みダイアログで「ソースユニット」オプション>「ファイルから検出」が追加されました。これにより、元々そのファイルで設定された単位でファイルは開きます。
- 編集メニューに「テキストのみ貼り付け」が追加されました。
- ダイナミック効果チェックボックスが追加されました。追加された場所は、プロパティバー、貼り付け属性ダイアログボックス、検索ダイアログパレットです。
- 角丸四角形のコーナー半径はオブジェクトをリサイズすると同時に比例してリサイズされるようになりました。
- エクスプローラーのプレビュー画面で CVX および CVD ファイルのプレビューを大きく表示できるようになりました。(ファイルが複数シート/ページで構成されている場合はマウスをスクロールするとそれらの内容も確認可能)

解決した問題

- Windows 7 において、特定の漢字またはカタカナなどを含むファイル名の Canvas X ファイルを編集後上書き保存しようとする際にエラーメッセージが表示される不具合が解消されています。
- 属性スタイルパレットでスタイルを作成する際、右側のみに矢印が適用されている線を選択した場合に[矢印]チェックボックスが有効にならない不具合が解消されています。
- SpriteEffects 効果、レンズ、マスキングパス、透明マスクに関連したいくつかの問題が解決しました。
- ドキュメント上に画像をインポートまたは配置した際、画像のファイル名のみオブジェクト名として指定されるようになりました。(以前は画像のフルパスがオブジェクト名として指定されていました)
- グリッドに吸着が ON になっていると角度の計測ができない問題が解決しました。
- オブジェクトメニュー> 自動寸法で面積と周囲の計測が逆に指定されていた問題が解決しました。
- 一部の CGM ファイルに限り正しく開かない問題が解決しました。
- ある特定の 방법으로描いたベジエ曲線の面積がマイナスの値で表示されたり n/a で表示される問題が解決しました。
- 開いたベジエ曲線や多角形オブジェクトの面積は表示されないようになりました。
- ドキュメントの表示ビューをコントロールする際、Ctrl+上向きマウススクロールでズームイン、Ctrl+下向きマウススクロールでズームアウトするようになりました。
- オペレーションシステムの設定が英語以外の場合、PDF ファイルが正しく保存されない問

題が解決しました。

- Adobe Illustrator CS で作成された一部の PDF ファイルが Canvas X で開けない問題が解決しました。
- RGB スポットカラーがドキュメントに使用されている場合、カラーが間違っただけで PDF ファイルへ書き出されてしまう為、Acrobat Reader で開こうとするとエラーが発生する問題が解決しました。
- オペレーションシステムの設定が英語以外の場合、小数点以下の値が正しく編集されない問題が解決しました。
- CVShell アプリケーションエラーがイベントビューワーログで発生する問題が解決しました。
- Canvas で保存した SVG ファイルを Google Chrome で開くと一部のファイルに限り undeclared entity errors が発生する問題が解決しました。
- ページ内を拡大縮小しながら移動する際、ズームしようとしている箇所を基点にズームの倍率が適用されるようになりました。
- フォルダ名にピリオドが使われている場合、そのフォルダに保存した CVX ファイルが消えてしまう問題が解決しました。
- 環境設定センターでスマートツールボックスの設定をした後アプリケーションを再起動すると設定が元にもどってしまう問題が解決しました。
- 寸法オブジェクトの寸法値は一定のテキスト間隔を保って印刷されるようになりました。
- テキストオブジェクトが選択されていてもキーボードショートカットでテキスト > 文字間隔 > 狭める/広げる操作が正しく動作するようになりました。
- 角丸四角形の角度を自動寸法ツールで計測しようとするとう計測がされない問題が解決しました。
- 線に回転をかけた後リニアを自動寸法ツールで計測しようとするとう計測がされない問題が解決しました。
- 高 DPI 設定に関連したいくつかの問題が解決しました。
- コンテキストメニュー > フレームインクグラデーションを編集が正しく動作していない問題が解決しました。
- パスワードを追加で保存した CVX ファイルを次回開こうとすると、正しいパスワードを入力しているにもかかわらず開けない問題が解決しました。
- グリッドとガイド設定の X と Y 値を変更してもアプリケーションを再起動すると値がデフォルト値に戻ってしまう問題が解決しました。
- ドキュメント上に配置した PNG ファイルは GIF ファイルとして正しく保存できない問題

が解決しました。

- ファイルを保存するとドキュメントに設定した印刷範囲が維持されない問題が解決しました。
- 16ビット/チャンネル画像はTIFファイルとして正しく保存されない問題が解決しました。

既知の問題

- SpriteEffects 効果>ダイナミックシャドーは効果メニュー>ダイナミック効果>シャドーに移行しました。以前のバージョンでダイナミックシャドーを適用したオブジェクトを編集する場合は、再度ダイナミック効果>シャドーを適用し直してください。
- 最後に Canvas X を閉じた際、Canvas アシスタントが開いていた場合は、次回 Canvas X を起動するとドッキングペインが閉じた状態で開きます。
- PDF ファイルを読み込む際、最初のページサイズは Canvas X の用紙サイズとなります。
- Windows の OS(Windows 7、8、8.1)をアップデートしていないと、Canvas X を起動した際.dll ファイルが見つからないというエラーメッセージが生じる可能性があります。このエラーが生じた際は、ACD Systems の Support Center に用意された KB KB2999226 を参照し Windows の OS をアップデートしてください。その後 Canvas X を一度アンインストールし、再度インストールしてください。
- Surface Pro 4 にインストールした Canvas X で筆圧感知を可能にするには、最新の WinTab ドライバーをダウンロードしインストールした後 OS を再起動してください。その後 Canvas X を起動してください。
- Canvas X をインストールした後コンピュータを再起動することをお勧めします。再起動することにより、必要なパッケージが完全にオペレーションシステムにインストールされます。

非対応項目

- SpriteEffects 効果からダイナミックシャドーは取り除かれました。
- ドキュメントサイズや方向が異なるシート/ページで構成された複数ページドキュメントを作成した場合、作成した通りには印刷されません。印刷する場合は、他と異なる設定をしたドキュメントは別々に印刷してください。